

公表

事業所における自己評価結果 放課後等デイサービス 単位2 (高学年)

事業所名		ととでのキッズ 放課後等デイサービス 単位2 (高学年)				公表日	令和8年3月30日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・日によりますが、体格が大きい利用者の日は、部屋スペースが狭く感じます。 ・人数が少ない日は十分と思いますが多い日は少し狭いかなと思う時があります。外遊びが出来る日等はプログラム等の時間を調整されているため良いと思います。 ・十分な広さとは言えないが、使い方を工夫出来ていると思う。 ・(どちらともいえない) ・他部屋を活用する等の工夫を行っている。 曜日や利用人数によっては、部屋の中が密な状態になっている。	活動内容に応じて使用する場所を変更するなどの工夫を行っていましたが、療育部屋の変更もあり、より安定した支援環境の確保に努めます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ただし外遊びなど男性(保育士)が配属されると良いと思います。 ・日によっては職員が適切でないと感じる時もある。 	職員の配置基準は満たしていますが、今後は職員間の情報共有をさらに強化し、役割分担の明確化や応援体制の見直しを図ることで安心して支援にあたる体制を進めていきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボード等もわかりやすく工夫されているので良いと思います。 ・ホワイトボードの視覚提示をシンプル化 ・時計はアナログとデジタルの両方を確認できるようにしている。 	環境整備について業務会議等で協議・検討できるようにしくみを次年度も実施いたします。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日丁寧な掃除を心掛けている ・エアコンは毎日フルで稼働しているので、シーズンごとに業者等に清掃をお願いしたい。 ・毎朝の換気と室内環境(備品)のチェックを行っている。 	引き続き、活動に合わせた部屋の活用に努めてまいります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・1フロアなのでないで工夫している。 ・気持ちの切替や個別療育など、用途に応じて使用している。 ・衝立やプラットホームを使用する等、限られた場所の中で工夫されていると思う。 	個々の特性に応じた視覚支援や活動ごとの空間の明確化は図ってきたが、今後も環境の工夫を最大限にしながらより一貫性のある構造化を進めていきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に反映 	職員間で共有し、業務改善に活かす取り組みを行っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の昼礼においてきちんと振り返りや意見等の場を設けています。 ・業務会議や朝礼で意見交換が出来ている。 	朝礼を中心に職員が自由に意見を発信できる環境を整え、業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	8		第三者委員については検討中です。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の勉強会や研修への参加 ・送迎時間の都合上受けられない職員は居るものの、機会は充分にあると思う。 	内部研修や外部研修への参加機会を設け、職員の専門性向上に努めています。	

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・カンファレンスで複数の職員の意見を聞いてくださっている。	職員間で情報共有・検討を行いながら多角的な視点で子どもの最善の利益を考慮したサービス計画書の作成に努めています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	・まずは自分で考え、先輩職員にこういのはどうでしょうか？と指示、アドバイスをいただき活動に取り組むことは出来ていると思います。	職員間で情報共有と協議を行いながら、5領域に基づいた子どものニーズや目標を反映させた活動プログラムをチームで立案しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・担当を回すことで、いろいろな活動が行えている。	固定化しないよう多様なプログラムを取り入れています。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	・毎日振り返りと打ち合わせを行っている。 ・内容があやふやにならない様に、きちんと全員が把握している。 ・毎朝、その日のプログラムや加配について話し合っている。 ・毎日の朝礼にて共有	事前の打ち合わせを通して、支援方針や対応方法を共有し、チームで共通理解を図りながら統一した支援を提供しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	・翌日に朝礼にて実施している。（緊急性のあるものは即日共有）	振り返りは行っていますが、時間の確保が難しい場合もあり、効率的に共有できるよう工夫していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	・記録と情報共有に努めている。	今年度もIc tを活用し、ダブルチェックを行いながら業務改善を行ってきました。また次年度も引き続き実施してまいりたいと思います。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	0		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	・1人1人に合った支援を行っていると思う。 ・支援者主導にならないよう、子どもへの声かけに関して支援員同士で意見を出し合っている。	子どもの意見や興味関心を尊重し、選択の機会を設けることで、自己決定力の育成につながる支援を行っております。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	・送迎時、学校と情報共有を行い、状況によっては事業所で聞き取りをしている。	学校との連絡や情報共有を通して児童の状況を把握し、一貫性のある支援が行えるよう連携を図っています。

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	・年単位では少ないと思うので、地域の子供たちとの交流の場がもう少しあれば良いと思う。 ・機会は少ないが、行事やイベントで交流を図ることが出来ている。 ・外出活動や外部講師交流時の交流はある。 ・児童館との交流は、時間が合わないことが多い。	地域資源を活用し、地域の子どもたちと関わる機会を設けることで、社会性や対人関係の育成につなげています。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・定期的に行っている。	日々の連絡や面談を通して保護者と丁寧に情報共有を行い、児童の状況や支援内容について共通理解を持てるよう努めています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1	・講師を呼んでの研修があり、とても興味深い内容で役立ち良かったです。 ・保護者会の定期開催がなされている。	家族支援の一環として研修の機会を設け保護者が安心して子育てに取り組めるよう開催しております。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	・参加人数が少ないので、今後の課題としては気軽に集まる内容や企画を考えていければと思う。 ・保護者会は参加者が少なかったが、お楽しみ会はとても好評だった。 ・保護者、きょうだい児交流の活動企画がなされ、実施されている。	次年度も保護者支援を計画してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	・保護者からの苦情については、私自身はまだ対応したことはありません。	苦情があった際には、迅速に事実確認を行い、適切に対応するとともに、再発防止に向けた改善に取り組んでいます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0		来年度も保護者と情報共有に努めてまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	・個人情報の書かれた書類などは、利用児さんに見えないようにしている。	個人情報保護に関するルールを遵守し書類やデータの適切な管理を行っています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0	・もちつきや消防訓練など地域住民参加の行事が行われている。	今年度も、もちつき、おたのしみ会、避難訓練も地域住民も参加型の行事となりました。来年度も引き続き計画してまいります。
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	・定期的に訓練を行っている。その際、職員の役割も確認している。	事故対応や災害時対応等のマニュアルを作成し、定期的に訓練を行っています。	

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	・全員がきちんと把握して、実際対処もしています。	事前に確認し、職員間で共有している。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	・外出時にはエピペンを携帯している。	保護者からの情報をもとにアレルギー内容を正確に把握し、緊急時対応について迅速に対応できる体制を整えています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	・毎月、定められた内容に基づいた安全指導を行っている。	安全計画に基づき支援を実施しています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	・その都度振り返りを行い、対策を考えている。	再発防止と安全意識の向上に努めています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	・常に話し合いできちんと話し合っている。	